

雲のうえ

20



北九州市

目次

2 特集

集まれば、仲間!

写真=長野陽一 題字=牧野伊三夫
文=大谷道子・つるやももこ

2 韃ヶ谷ラグビースクール(戸畑区)
ぶつかり合って、強くなる。

6 アズ漫画研究会
ひとりで描いても、孤独じゃない。

10 到津の森公園(森の仲間たち)(小倉北区)
動物と森と生活と。

12 星琳高等学校
フードホームクリエイション部(八幡西区)
食は故郷を救う、か?

14 敬愛中学校・敬愛高等学校柔道部(門司区)
乙女たち、闘う放課後。

18 北九州市立高等学校ダンス部(戸畑区)
青春に刻まれるステップ。

20 枝北健康劇団(枝北一座)(八幡東区)
演じて、笑って、みんな元気。

23 檸檬句会(八幡西区)
今宵、十七文字で会いましょう。

24 カズコ ライカノホナ タハラ 若宮教室(小倉南区)
フラシスターズは永遠に。

26 北九州市立高等学校珠算部(戸畑区)
つながる珠のように。

『雲のうえ』20号
題字=牧野伊三夫
写真=長野陽一
アートディレクション=有山達也
編集=つるやももこ
校正=齋藤 晋
©北九州市 2014
本誌記事・写真・イラストレーションの無断転載を禁じます。

青春時代、甲子園を目指し、野球ひと筋の日々を送った少年が、やがて社会へ飛び込み、世間の荒波にもまれ中期を迎えて今、ひとつの夢を抱く。それは「NHKのど自慢」に

なればと、2012年3月に開催された大分県佐伯市大会で初の予選参加を果たす。が、惜しくも落選。その後、大分県白杵市、福岡県八女市大会では、予選前のハガキ抽選に漏

れ舞台へのあくなき挑戦は続く。運命の日、メロルが届いた。石飛氏の、晴



『NHKのど自慢』に出る会 この熱き情熱よ、電波に乗れ。

のど自慢!
この熱き情熱よ、電波に乗れ。
出ること。あの鐘の音を聞くために。
石飛吉規いしひよしのりさんは、地元某住宅設備メーカーに勤めながら、日々喉を鍛え続けている。その名も『NHKのど自慢』に出る会』の正式メンバーは現在1名。同志を得るためにも、まずは活動の第一歩を踏み出す

れるという不運にまわられたが、昨年4月、故郷・北九州市の舞台上に、橋幸夫の『恋のメキシカンロック』を引っさげ再登板した。
そこで実感したのは、「もう、次回は自分が好きな歌を好きなように歌おう」。家族への感謝、地元愛、仲間同士の友情など、審査員へのアピールが不可欠と噂される世界。本選への道のりの険しさを知っているがゆえに情報に翻弄される己を捨てて。野球部で培った、打たれ強さと『ど根性』、そして『デカイ声』を武器にのびのびと歌えばいいさ。2014年1月26日の大分市大会へ志を新たにす。

ベス BESS 展示場へ行こう!!

丸い家、四角い家、三角屋根の家、シブい家…個性たっぷりの木の家や楽しいインテリア、気持ちいいウッドデッキや庭。BESS展示場には、「こんな風に暮らしたら、楽しそう!」のヒントがいっぱい。今度のお休みは、BESS北九州展示場に出かけてみては?



自宅として楽しむログハウス 個性あふれる木の家の内部に潜入!

ログハウス=山小屋の別荘と思っている人も多いのでは?実際は、9割の人が自宅として住んでいます。木のぬくもりいっぱいの家、街の中に、今どんどん増えています。
どんな365日になるんだろう?
◎あきつログハウスは、ウッドデッキの代わりに、庭の楽しさを提案しています。

読書? BBQ? どう使う? どの家にもウッドデッキが!

すべての家にキッチンがあるように、すべての家にもウッドデッキが! 晴れた日が しみこむ空間!
“大空の下のリビング”を、暮らしに欠かせないアイテムと考えている BESS。この空間、どう使うかは住む人次第?
◎あきつログハウスは、ウッドデッキの代わりに、庭の楽しさを提案しています。

理屈抜きに、五感で感じてみて! 吹き抜け・天窓のある空間

同じ㎡でも、広く明るく感じるのなぜだろう? 心がおだやかになるのは、どうしてだろうか? BESSのキーアイテム・吹き抜けや天窓の気持ちよさはカラダで感じられないとわからない!
何だか 気持ちいいなあ…

「カッコいいね」「なんだこれ?」 楽しい暮らしが想像できるインテリア!

そこに住んでいる人の顔が見えてくるような、凝ったインテリアも面白い! 「家を見に来たつもりが、小物や家具に見入ってしまいました」という人もしばしば。
ひとつひとつに すこいこだわり!

映画の世界だけじゃなかった! やっぱり羨ましい「薪ストーブ」

ログハウスと言えばやっぱりこれです。薪の炎を見つめていると人間の気持ちは穏やかになるのだとか。BESSの住人の半分以上の人が、薪ストーブを設置するというデータが。
◎ストーブ一台でハイブリッド車5台分!70%削減効果もあるエコな暖房として注目されています。
わが家にも絶対ほしい

このまま住めるんだあ。標準プランで実際の暮らしを体感

豪華絢爛なモデルハウスに憧れて家を建て「展示場は良かったけれど…」という気持ちになるのは何となく…。見学できる建物は、等身大の標準プランだから、実際に住んだときの感覚がわかりやすい!
住み心地が 実際わかる!

BESS北九州展示場は、“暮らしを楽しむ家づくり”のお手伝いをしています。自宅向けログハウスをはじめ、個性的な木の家7棟をご見学頂けます。

ベス BESS 北九州展示場

「住むより楽しむ」
Phone:093-291-1700
〒811-4331 福岡県遠賀郡遠賀町別府3713-3
●営業時間/AM10:00~PM6:00
●定休日/水曜・木曜(祝日は営業)
●交通/車:国道3号線遠賀バイパス側道沿い 黒崎I.C.より約20分・古賀I.C.より約40分
BESSの家
株式会社BESS福岡

BESS北九州 検索



BESS 安心総合保証

BESSなら建てる前も建った後も安心。建て替え、住み替え、用地転換、住宅ローン等、お気軽にご相談ください。
50年保証システム
建物の完成までを確実に保証する「完成保証」
施工後に地震と瑕疵を併せて保証する「50年保証システム」(住宅履歴付)
万一の不具合にも、万全な24時間態勢の「メンテナンスサポート態勢」

集まれば、仲間！

家族やパートナー、同僚、クラスメイト……
 あなたのそばには同士がいる。
 この地球に生きているかぎり
 今日も小さなコミュニティに加わって
 ときには笑い合い、ときには抱き合い、
 ときにはぶつかり合ったとしても、
 明日は、ごめんと謝って
 また一からやり直せばいい。
 気づけば、同士は同志になって、
 離れがたく、強い気持ちで結ばれる。
 だから、まずは集まってみよう。
 集まれば、今日から仲間。

写真 長野県 題字 牧野伊三夫
 文 大谷道子・つるやもこ

戸畑区を走るバイパスを外れて側道に入る。来た道を回り込むように坂を下っていくと、ぽっかりと景色が広がった。小学生から中学生まで、さまざまな年代の子どもたちが土埃を巻き上げながら、元気に走り回っているのが見える。この鞘ヶ谷グラウンドが「鞘ヶ谷ラグビースクール」（以下『SRS』）の本拠地である。

遡ること35年前。その話は突如持ち上がった。新日鐵八幡製鐵所が所有しているグラウンドをホームに、少年ラグビースクールを設立しようという呼びかけだった。八幡製鐵所ラグビーチームといえは、全国社会人ラグビーフットボール選手権で、最多優勝12回を誇った強豪。社の部のOBを中心に指導力を集めた少年たちに「犠牲・闘志・団結」の競技理念を広めながら、未来のラグーマンを育てようという試みだった。

「スクールの結成は1979年12月、翌1980年に正式発足しましたが、とはいえ、前例のないことやから。最初は、まず自分らの子どもをメンバーに入れて、なんもわからんままでのスタートでした」

そう話すのは、八幡製鐵所ラグビー部OBで、現・副代表の平野隆行さんだ。代表の近藤一雄さんとともにスクール発足のために奔走したことを振り返る。当時たった10名でスタートした『SRS』は今、幼稚園児から中

「鞘ヶ谷ラグビースクール」は、有志によって運営されている民間団体。今年創立35周年を迎えた。左・翌日に試合を控え、引き締まった顔立ちの小学校6年生チーム「フェニックス」のキャプテン片岡大己（かたおかひろき）君。

ラグビー！
 鞘ヶ谷ラグビースクール（戸畑区）
 ぶつかり合って、
 強くなる。





最初は遊びの延長。ラグビーに親しみながらルールを学び、やがてタックルやトライなどの技術的なことを実践しながら習得していく。小学校高学年になると迫力のある本格的な練習に。

学3年生まで、合わせて180名が所属する。そのため、週に1度の土曜日の練習は10時から14時まででは中学生、15時から17時まででは就学前の幼児と小学生という、2部に分かれて行っている。チームは学年ごとの編成で、さらに、各チーム少なくとも3人のコーチが

付くのが決まり。また、多くの父母が練習を見学しに来ているため、グラウンドはとにかくにぎやかだ。練習のかけ声と応援が相まって、活気にあふれている。「やっとスクールが10年を迎えた1989（平成元）年、たしか一炉の溶鉱炉の火が消え

もしよらん。それは、指導を始めてすぐにはわかったんです。ここには、単純にラグビーが好きでうまくなりたいと思う子が集まっているんじゃない。友だちを作りたい、丈夫になりたい、心が強くなりたい。そう思ってくる子も大勢おるんです」

だからこそ、ラグビーの技術だけを教えることはしない。技術より、むしろ淡々とした基礎練習を通して、苦しさから逃げない、頑張り通す心が子どもたちに根づくことを願っている。できないことができるようになる喜びや楽しさを味わってほしい。練習が苦しくてやめたいと思う子どもには、あと3ヵ月だけ頑張つて続けてみよう、と話す。つらい時間の壁を超えた先に、必ず得られるものがある。たとえ3ヵ月だけでも、頑張った現実はその子の糧になるはずだから。指導者の務めはそれを支えること、と。

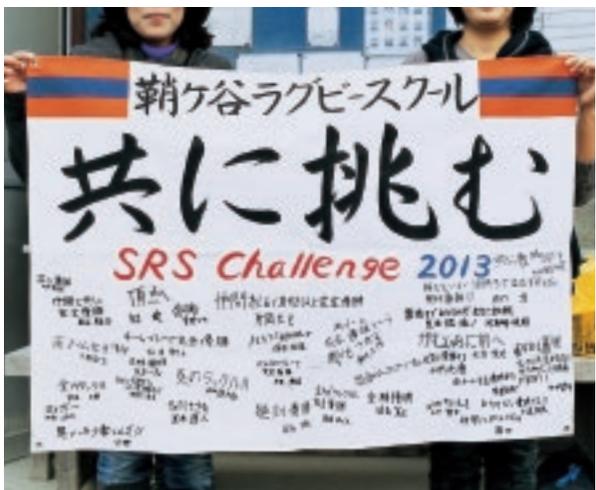
グラウンドの中央で、ひとときわ激しく練習をしているチームがいた。コーチも、どこことなく殺気立っている。聞けば、小学校6年生で編成されたチーム「フェニックス」と「ドラゴン」が、明日から3日間「福岡県小学生ラグビーフットボール大会」に出場すること。パスとフォーメーションの練習を経て、休む間もなくタックル練習へと移る。

立てたサンドバッグは少年たちの身長とほぼ同じくらいの高さだ。その塊めがけて、ドスンッ、ドスンッと鈍い音を立てながら代わる代わる突っ込んでいく。

「ナイス、タックル!!」。1人が決めるたびに、みんなが声を揃えて激励する。その傍らでコーチが、「どこがナイスか! おまえら、どれだけ高いタックルしよるんかっ!」と激

を飛ばす。

男の世界。叱咤され、怒鳴られても、彼らは淡々と同じメニューを繰り返す。練習開始から2時間足らずで、スニーカーはもちろ



明日からの「福岡県小学生ラグビーフットボール大会」に備えての寄せ書き。家族も応援に気合い充分。

ボールに食らいつく。そして、転んだ相手に手を貸し、ときに歩きながら背中を叩き合う姿を何度も見かけた。

誰よりも厳しい表情で指導していた河原崎朗（かわらざき）コーチが言う。「下半身、上半身、走力を鍛えるとともに頭部をコントロールすることも

大切ですが。でも、痛い思いは必ずします。怪我はつきもの。とにかく強くないとやっていけない。ぶつかって強くなっていくんです」ラグビーは、前に人がいたら当たって倒して進まなければいけないスポーツ。確かに強くないとやっていけない。しかしそれは単なる体力、力まかせでの勝ち負けではなく、気力や気迫のようなものを兼ね備えてこそその強さなのだろう。「精神力」という言葉が浮かぶ。ぶつかり、ぶつかられ、痛さを噛みしめながら強くなる。そして自分自身が受けた痛みは、いつしか他人への優しさへ変わる。

スクール創立30周年の記念誌を読ませてもらった。そこには、立派に成長したラグーマンたちから少年たちに向けて、たくさんメッセージが送られていた。

「あのときの頑張りがそれからの人生の基盤になった」

「激しく厳しいスポーツだからこそ、得るものも大きい」

「ラグビーの経験は将来、必ず君たちの役に立つはず」

何より、ラグビーを通して生まれた友情は固いとみな口々に言う。それは、子どもと大人の間でも同じこと。

鞘ヶ谷グラウンドという舞台では、今日もさまざまな成長の物語が生まれているのだ。



1967年の記念すべき創刊号「アズ」。当時「たかさんの人が描いているように見せるため」に田中館長は3つのペンネームを駆使して執筆。肉筆誌の制作は1975年まで続けられた。

そこは、自由な空間だった。

大人も子どもも、ソファに寄りかかったり、クッションフロアに寝転んだり、思い思いの格好でページを繰る。館内の棚には、マンガ、マンガ、マンガ。ここは、小倉駅にほど近いビルの中にある、北九州市漫画ミュージアム。「大阪や東京からも、たくさん来ています。大塚や東京からは若い人たちが、熊本や長崎、鹿児島などから参加してくれています」そう語るのには、館長・田中時彦さん。小倉に生まれ育ち、会社員として勤務の傍らマンガや童画を描き、コラムを執筆。そして、北九州市「マンガの街」として公立ミュージアムが創設されるのに間違いなく影響を及ぼした、ある流れを生み出した人である。

北九州市出身のマンガ家が多い、というのは、愛好家の間ではわりと知られた事実である（と思う）。「宇宙戦艦ヤマト」「銀河鉄道999」など日本マンガ史に燦然と輝く名作の父・松本零士氏（ミュージアムの名誉館長でもある）をはじめ、『キャッツ♥アイ』の北条司氏、『まんだら屋の良太』の畑中純氏、『銀曜日のおとぎばなし』の萩岩睦美氏など、など、など。戦後から現代までのマンガの歩みをひ

とおり語れるほどの層の厚さを誇る。

「中国大陸、朝鮮半島に近く、文化の交流が盛んだった地域。そして、八幡製鐵所という近代日本初のものづくりの場がある。こういう風土に育つと、知らず知らずのうちに、気質や技術を受け継ぐんじゃないでしょうか。あとは、住民性でしょうね。明るくて、人よりに抜き出したい、自分のうまさを見せたがる性質（笑）。思いついたことはすぐかたちにしたくなる、という」（田中さん）

そして、北九州市内には、地元根ざしたもうひとつのマンガの潮流が存在する。田中館長が結成、創刊し、現在も活動する同人誌サークル「アズ漫画研究会」（以下、『アズ』だ。歴史の始まりは、1966年。小倉の中学校の同級生6人で起こした、小さな蜂起だった。

漫画！ アズ漫画研究会

ひとりで描いても、 孤独じゃない。

「学校の美術部にもマンガサークルがあったんですが、そこにはすでにデビューを果たした奴がいたりして、すごくレベルが高かった。だから（俺たちもやろう！）と手を挙げて」創刊号を開くと、インクの濃淡が、黄ばんだ紙を通して往時の興奮を伝える。メンバーの高校入学と同時に一時散開するも、当時影響力のあったマンガ雑誌『COM』（発行人は手塚治虫）で募集をかけると、たちまち全国から参加希望者が殺到。以降、田中さんは、同人を増やしながら編集を続けた。

「あの頃は、夜な夜な集まってはマンガへの思いをぶつけ合っていましたよ。それこそ、朝まで。自分たちの作品のことだけでなく、（日本のマンガはどうなるんだ!?）って」

その頃、小倉のデパートで行われた展覧会を覗いたことがきっかけでメンバー入りした女性がいた。のちに『わらって！ 姫子』『金のアレクサンドラ』などの作品で人気を得る少女マンガ家・文月今日子さんである。

「高校を卒業したくらいだったかしらね。北九州でマンガを描いている人がこんなにいるなんて！ って。もうそれで、『アズ』に引きずり込まれてしまったの」

超一流がしのぎを削った人気雑誌「少女フレンド」でデビューののちも、超過密スケ

ジュールの間を縫って『アズ』にイラストやカットを寄せ続けた文月さん。「やっぱりひとりだと寂しかったのよ」と振り返る。

「プロでも、家の中に閉じこもって描いている毎日は孤独なもの。でも、仲間を送って（うまいね！）なんて言われれば、描き上げようかって気持ちになれる。『アズ』は、やっぱりあったかいのよ。私は、雑誌で頑張るのも『アズ』の活動のひとつだと思ってた」

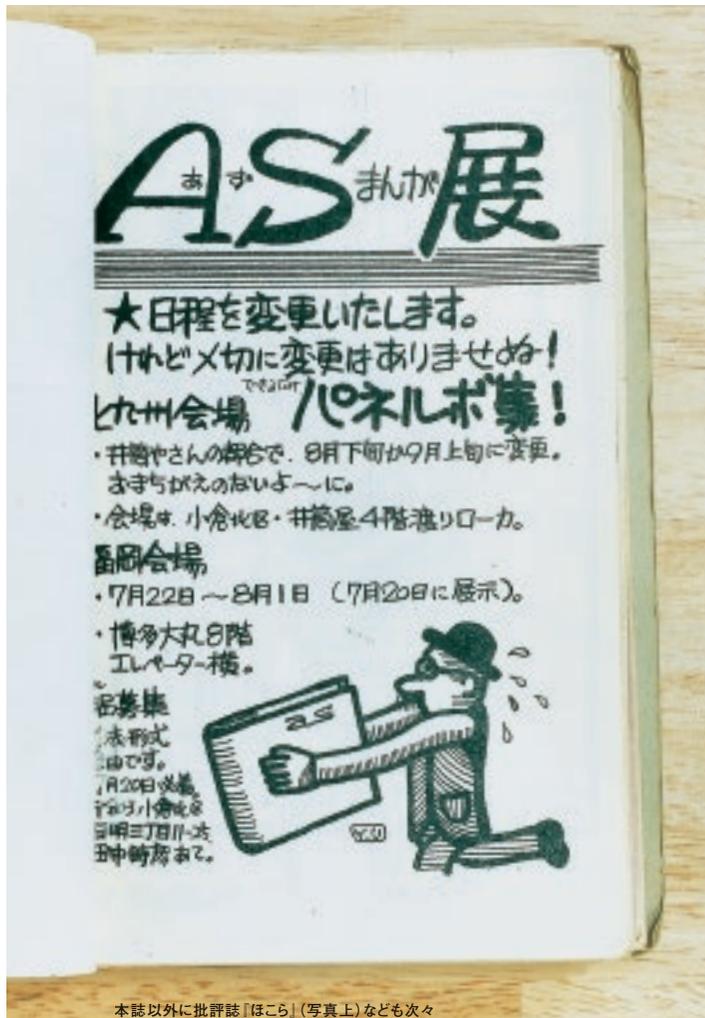
就職、結婚、出産、子育て。会員たちの人生の変遷により、活動の灯が消えかけたときもあった。しかし、その時期を乗り切った『アズ』はやがて、始めた頃には思いもしなかった発展を見せることになる。

「大きく括ると、現在の『アズ』にいたのは60年代から70年代の第1世代、その子ども



の年代に当たる第2世代ですね」と話すのは、第2世代を代表する作家のひとり、たおゆかさん。県の事業でヨーロッパやアジア各国に似顔絵を描きに出向く、いわゆる「クールジャパン」の先鋒にいるイラストレーターである。彼女を『アズ』に誘ったのは、両親ともに同人というアズ・サラブレッド（！）の美少女イラスト作家・しいたけ氏。

「第2世代には、フィギュアを作る人やコ



本誌以外に批評誌『ほこら』（写真上）なども次々発行。ガリ版を経て、湿式・乾式コピー、オフセット印刷へと、様式の変化は印刷の歴史そのもの。左上は、1975年のオフセット版創刊号。



文月さんと同時期には、乙女チックマンガで一世を風靡した“むちA子”こと陸奥A子氏も投稿。「第一線で活躍するプロたちを目標に、僕らも走り続けられた」と田中さんは言う。

新しいこともできるのかって、励みになるのよね」（文月さん）と大らかに受け止める。

「作品を描いてくれる人なら」資格は不要。会費も徴収しない。現在は冬と夏の2回のコミックマーケットを目標にした本誌の発行と、イベントへの出店がおもな活動。下関市で開催される馬関まつりの際は、同市内の文月さん宅で合宿が行われる。

「1年1回、体力が保つうちは続けていきたいわね」と文月さん。

「ご主人の手料理が楽しみなんです！ね、時やんも……あ」とたおさん。思わず口をつ

いた「時やん」は、田中さんの愛称だ。

「いいのよ、『アズ』では」（文月さん）

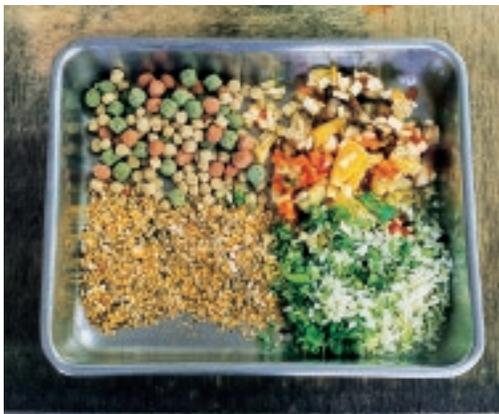
「そうそう。いつも、誰も『館長』なんて言わないんだから」と田中さん。マンガを愛する者同士こそ、純粹でフラットな感性。

「子どもや孫の世代とも、マンガについてなら対等に話せる、基本的にアットホームな集団。クールジャパンだとか町おこしだとかいろいろありますが、まあ、我々はあまり左右されず、好きにやります」

描き手あつてのマンガであり、自由な魂あつてのマンガなのだ。



70代から10代まで約60名が在籍。昨年、北九州市民文化功労賞を受賞。本誌はウェブ（<http://asmanken.web.fc2.com>）で通信販売中。Facebook ページ「As-exhibition」も好評。



「森の仲間たち」の募集は年4回。15歳以上の市民なら誰でも会員になれる（ただし18歳未満は保護者も同時に入会）。3ヵ月間のおためし研修を経て、どのグループに入りたいか自己申告する。上・田淵さん（左）と東さん（右）は並んで作業。ベテラン田淵さんは、マイ包丁を作業場に常備している。左上はアジアに生息するアオバト。左下・アオバト用にセットされたエサ。青菜の刻んだものと果物に加え、総合栄養食も入っている。 <http://www.itozu-zoo.jp/>



国内には64頭のモルモットがいて、すべてに名前が付いている。掃除のあとは、「ふれまる」の時間。ふれまるとは触れ回るの意。モルモットを定期的に撫でてあげることによって人間に慣れさせる。子どもたちに触らせてあげたり、生まれた子を幼稚園や小学校へ里子に出すための訓練だ。

動物園ボランティア！ 到津の森公園〈森の仲間たち〉（小倉北区） 動物と木林と生活と。

開園前。動物たちの気配を感じながら園内の作業場へ向かうと、ザクザクと、ひたすらにキャベツを刻んでいる女性がひとり。斜に構えた体勢、リズム感のある包丁さばきに熟練を感じる。田淵玲さんは、ここ『到津の森公園』で飼育されている野鳥たちと、フクロテナガザル、ジェフロイクモザルのエサ作りを11年間担当している。しかし田淵さんは飼育職員ではない。本業は主婦である。

『到津の森公園』は、田淵さんのような市民ボランティアが100人以上も運営に携わる、市民による市民のための動物園だ。ボランティアの団体名は「森の仲間たち」。かつて、68年の歴史がありながら、財政難によって閉園を余儀なくされた『到津遊園』を、署名運動によって2002年に再開園させると同時に、市民同士の呼びかけで発足された。

「今は、6つのグループに分かれて活動していて、わたしは飼育グループ。メンバーは、エサ切り作業以外に、ウサギやモルモット小屋の清掃をしています」と田淵さん。ほかに、園内の動物ガイドや、裏手に広がる里山のガイド、広報誌の編集もすべて有志によって行われている。

「お待たせ、お待たせ」と、そこへもう一人助っ人が現れた。東和代さんもまた、家事の合間にここへ手伝いにやって来る。

「どこまでやった？ ああ、田淵さんベテ

ランだから仕事が速いわ」。東さんもおもむろに隣に立って、ザクザク。キャベツのほかにも、コマツナ、リンゴ、バナナ、サツマイモ、オレンジも用意する。鳥は種類によって体格とくちばしの形が違うから、ついでみやういエサの大きさも変えなくてはいけない。最初の包丁の入れ方が肝心だ。

「おサルさんはいいのよ、手を使って上手に食べるから。鳥はね、結構気を使うのよ。オオサイチョウという鳥は、リンゴやサツマイモは茹でて甘みと食感を出さないと食べない。マレーシアの国鳥だから、やっぱりプライドが高いのかしらね」

田淵さんと東さんは高らかに笑い合い、おしゃべりは止まらない。でも、決して手が止まることはなく、1時間ほどで作業は完了。

「孫とここに来ることが何よりの楽しみ。うちの孫は、ゾウさんが一番好きなんだけれど、バードケージの前を通ったら、これ、ばあばが刻んだエサだよって教えてあげるの」と、東さんが携帯を開いて見せてくれる。フォルダは、孫と動物の写真でうまっていた。

モルモット小屋の掃除を11年続けている大和洋子さんも言っていた。「冬の水仕事も大変と思いません。この仕事をわたしは『同好会』と呼んでいるの。習い事と一緒に、楽しいからみんな続けているんです」と。「森の仲間たち」がいるかぎり、動物たちの未来は安泰だ。

料理！

星琳高等学校フードホームクリエイション部（八幡西区）

食は故郷を救う、か？

ほわほわと湯気が立ち上る。学校の教室で、八幡西区黒崎の星琳高等学校、その調理室では、コックコートに身を包んだ少女少女たちが、背筋を伸ばして調理台に向かっていた。

1、2年生合わせて25人が所属する家庭科部の、同校での名称はフードホームクリエイション部。うち、フードクリエイション班には、食物調理科の生徒たちが所属。日々の授業に加えて、部活動でも調理実習を行っている。

この日は、基本の黒糖饅頭の作り方をおさらい中。「授業だけじゃできないことを部活で教えてもらえると聞いて入部しました」という副部長の徳川由稀さんをリーダーに、助手、洗い方と分担し作業する様子は、さながらプロの厨房である。創造」と冠するには理由がある。調理場で研鑽を積むのに留まらず、彼らが目指すのは、

新しいメニューを生み出すこと。この調理室で開発されたオリジナル料理は、実際に町のイベントなどで市民に提供されている。

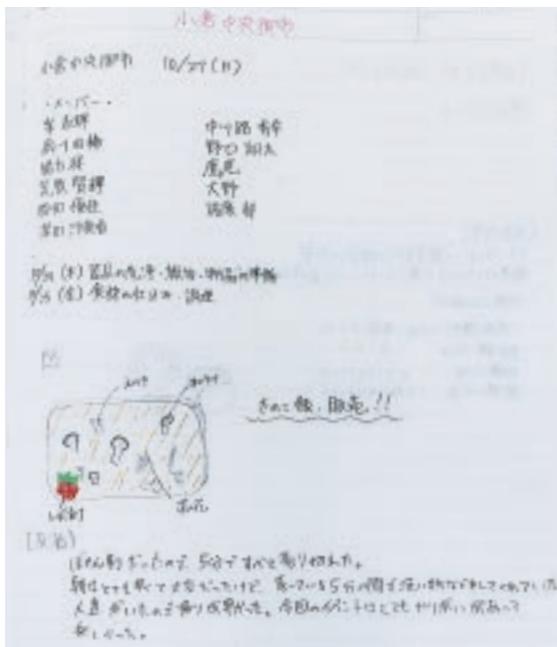
「黒崎宿にちなんだ宿場うどんを提供したり、調理科のある学校でオリジナルの麺対決や、井対決をしたり。井対決では、ここ2年、連続して優勝しました」と顧問の内藤武紀教諭。聞けば、井対決で優勝した際の「かにちらし」は、レンコン入りの酢飯の上に夏野菜とソフトシエルクラブのフライを載せ、チリソースをぼん酢で割ったソースをかけて食すという、名からは想像もつかない斬新な内容。和洋中にエスニック、さまざまな料理を食べ比べて育った10代らしい奔放な発想がうかがえる。

B級グルメの祭典「B-1グランプリ」の例を引くまでもなく、今や町おこしには魅力的な食アイテムが必須だ。彼らがここ1年取り組んでいたのも、新たな地元の名物となる菓子作り。黒崎の「黒」から発想した、ココア入りの求肥で洋風餡を包んだ個性的な饅頭「黒崎祇園山笠」は、試行錯誤の末の、あるアクシデントから生まれたという。

「今日のように黒糖饅頭を作っていたとき、皮がなくなつて餡だけが残つたんです。じゃあ求肥で包んでみたら？ と。やってみたら、それがおいしくて」（徳川さん）



1964年、成美高等学校として開校。調理科は86年に設置。発想満載のレシピ帳はチームの財産。峯君（写真右端）に徳川さん（左から2人目）、2年生の荒牧賢輝君（左）、1年生の中川路秀幸君（右から2人目）が開発に携わった「黒崎祇園山笠」は井筒屋、JR小倉駅などで販売。



食えることが好き。それ以上に作るのが好き。「両親がレストランを経営しているのを見て、自分も料理の道に進みたいと思った」という部長の峯直輝君をはじめ、彼らが志向するのは、もちろんプロの料理人。が、地元で？ と問うと、顔を見合わせ苦笑いする。「市内はちよつと（笑）。新しい街で、違う人の意見も聞いてみたいし」（徳川さん）
「最初は、ホテルの厨房など大きなところで。勉強したら自営業にも挑戦したい」（峯君）
その意気やよし。青春に冒険はつきもの。だ。梓にはまらぬ若い力は、いつか故郷に還元され、町の発展の呼び水になることだろう。

1925年、鎮西高等女学校として設立。47年に
中学校、48年に高等学校が開校され、のちに男
女共学となり現在に至る。高校柔道3大会で過
去いずれも優勝経験を持つ強豪として、全国にそ
の名を馳せる名門柔道部には、中学生と高校生
合わせて現在30人が在籍。夢は、もちろん日本一。



門司区別院の丘の上、午後4時。校舎の奥
へと足を踏み入れると、その一角から、静
寂を切り裂くようなブザーの音が鳴り響く。
広々とした空間、蛍光灯に照らされた床は、
パステルカラーの畳。柔道場だ。

「100畳。壁に囲まれているので、柔道
場としては狭いほうですよ。今日は中学生が
合唱コンクールで遅くなるのと、高一がまだ
授業中ですが、5時には揃うと思います」と
言うのは、吉元幸洋監督。今は、道着に袖を
通した部員たちが数人、畳の脇で談笑しなが
らストレッチを行っている。吉元監督も、ゆつ
たりと畳に腰を下ろし、生徒たちを待つ。空
気は、いたって緩やかだ。

ここに集うのは敬愛高等学校、同中学校の
柔道部の面々。すべて女子部員だが、ただの
女子たちではない。昨年は「春の武道館」と
呼ばれる全国高等学校柔道選手権大会、通称
「夏の福岡」の金鷲旗全国高等学校柔道大会
を制し、全国高等学校総合体育大会柔道競技
大会、いわゆるインターハイに出場、ベスト
8に進んだ。惜しくも3冠は果たせなかった
が、間違いなく高校女子柔道の最高峰に座す
る、将来有望な柔道家たちなのである。

「インターハイは福岡での開催ということ
もあって、うちの子たちは中学1年生のとき
から6年間、優勝を目標に取り組んできまし
た。でも、僕らは機械じゃない。生身の人間

柔道！

敬愛中学校・
敬愛高等学校柔道部（門司区）

乙女たち、
闘う放課後。



ですから、やっぱりプレッシャーも感じます。
力を出しきれなかったのは残念でしたが、悩
んでいても次の試合は待ってくれない。きち
んとミスを修正して、1つ、2つと、また勝
ち抜いていく。それしかありません」

外でのランニングを終えた生徒たちが、
続々と入ってくる。まだ道着に着られている
感もあるあどけない下級生から、堂々たる風
格を漂わせる上級生まで、体格も個性もさま
ざまな生徒たちが、裸足で畳を踏みしめる。

5時。集合後、一礼をして畳の上での練習
が始まると、場内の雰囲気は一変した。

ぶつかる！

組み合う手と手、足と足に力が込められる
たび、骨身がきしむ音が響き、目には見えな
い熱が放たれる。人対人、本気对本気の競技
中には、叫び声のひとつも上がらない。

監督も、ほぼ無言で動向を見守っている。
「打ち込み」「切る打ち込み」「持ち上げ」な
ど、ホワイトボードに書かれた練習メニュー
は、基本的には主将が決めているという。

「いったん試合になったら、頼るのは自分
の力しかない。それを養うためにも、日頃の
練習については自分たちで決めさせているん
です。それに、私がああしろ、こうしろと言
わなくても、自分たちでやるべきことをちゃ
んと見つけていける。視線は、常にトップを
向いている子たちですから」



左ページ・山口主将の憧れは「身体は小さくても、一本で決める」2012年ロンドンオリンピック銀メダリストの杉本美香元選手。上・高校2年、熊本出身の清田麗衣さんは「寮、楽しいですよ、ご飯がおいしいから!」と集団生活を満喫中。好きなものを尋ねると、「お肉!」という即答が、満面の笑みとともに返ってきた。

創部は1997年。強豪校・福岡大学附属大濠高等学校から天理大学へ進み、青年柔道家として活躍した吉元監督の赴任によって、部の歴史は幕を開ける。

「母校に戻って教えるという選択肢もありましたが、何もないところでゼロから始めることを選びました。だめだったら、自分が責任を持って閉じればいいと」

男子部員を含む中学生4人、高校生3人での出発。思うように生徒が集まらない中、小倉南区出身で地元育ちの監督のもとに、「君になら」と生徒を預けてくれた道場主もいた。現在の栄光は、そうした地盤の上にある。

投げ技の練習が始まった。ひらり、ひらりと身体が宙に舞い、次の瞬間、容赦なく床に叩きつけられる。テレビ中継ではわからなかった、激しい音と振動。しかし、少女たちに動じる様子はない。ブザー音を区切りに相手を替え、黙々と、そして營々と投げ続ける。

練習は毎日、午後7時までの3時間のみ。全国制覇を目指して闘う生徒たちにしては、かなり短いような気がする。が、吉元監督は「逆に、それが限度じゃないですか」と。

「女性は生理的に身体を守る本能が働くので、本当は4時間でも5時間でも保つんです。たとえば、男子が3時間やって食事摂れず



にぐったりしている横で、女子は終わるとすぐにケロッとして山ほどご飯を食べられる(笑)。どこかで上手に抜いているんでしょう。それをできるだけなくして、短時間で集中的に鍛える。うちは運動部だといっても、授業を軽減するようなことはないですし」

ほんの少しの休憩を挟んで、寝技の練習が始まる。総勢30人近くが畳の上で絡まる様子で寮母さんが面倒を見るスタイルではなく、ご飯を炊いたり、片づけたりも当番制。練習だけしていればという身分ではない。

「若干苦労はすると思いますが、それによって自分を律することも大切なので」と吉元監督。甘やかさないのも、甘やかされないのも、すべては勝ち抜くため。必要なことが何なのか、彼女たちは、ちゃんとそれを知っている。いつの間にか、辺りは闇に包まれていた。

練習終了。熱気が潮のように引いていく。と、部員たちは、あつという間に少女の顔に戻った。あれほどの力をほとばしらせていたというのに、畳の脇で話し合い、笑い転がっている。剛にして柔。たくましい。頼もしい。

「団結力があって、選手だけじゃなく、皆で闘える。そういうチームにしたいです」と言うのは、9月から主将を任された2年生の山口凌歌さん。三重県出身、部員たちから信任により選ばれたキャプテンは、「今はまだ自分のことでせいっぱい。でも、普段からしっかり話をして、下の子たちの面倒も見てあげたい」と、責任感と包容力をみせる。丘の上、今日も明日も明後日も、少女たちは励む。そして、ときには街へ降りてくる。「小倉が多いです。駅の周りで、買い物したり、ブラブラしたり」と山口主将。闘うために集まった少女たちの、厳しくも清らかな日々。街は、かけがえのない青春の背景になる。

青春に 刻まれる ステップ。



下・創部15年目。昨年、高校の部活動として初めて、北九州市民文化賞を受賞した。顧問、緒方先生の次なる目標は、高校ダンス連盟を立ち上げ、高校ダンス部員たちの目標となるような大会を創っていくことだ。左・アクロバティックな技を決めるためには、厳しい筋力トレーニングも必要。ブレイクダンスの技「ラビット」をする松浦大地君。右・3年生の阿部美紀さんの夢は看護師になること。でも、ダンスはずっと続けていきたいと思っている。



キユキユツ。キユキユキユツ。
体育館の床にスニーカーのソールが擦れる音が外まで響く。室内の熱気をひしひしと感じながら重たい扉を開くと、圧巻！生徒が、思い思いに身体を動かしリズムに乗っていた。しかもその人数たるや、3学年合わせて総勢60名と予想以上の大所帯。創部以来15年間指導を続けてきた緒方浩教諭が、生徒の間を歩きながら、練習風景を見守っている。

ダンス部の正式名称は『N9SD』＝北(North)、九、州(States)、Dance。故郷の名を背負って踊る仲間、過去には日本高校ダンス部選手権にて2度の優勝(文部科学大臣賞)を経験し、今年度は全日本高等学校チーダンス選手権の大編成部門でも優勝を飾った実力派チーム。訪れた11月は、毎年末に行う自主公演で踊る演目を猛練習中。今年度で11回を数える一年の活動の集大成の場は、市内屈指の大ホール、北九州芸術劇場である。「最初は1回きりかなと思っていたんです。でも、部員の家族がとても喜んで続けたい、と。父母会を結成し、後援をしてくれています」と話す緒方先生自身も、15歳のときにポピー・ブラウンのパフォーマンスを観て衝撃を受け、ダンスを始めたひとりだ。教職に就きしばらくして、学校行事で生徒と踊ったダンスが話題となり、10人ほどから指導を懇願された。その2年後、発足したストリートダンス同好

会が、現在の前身であり出発点である。

「最近ではダンスが義務教育課程に取り入れられたりして認知度が上がってきましたが、知識があいまいです。ストリートダンスは「ヒップホップじゃないですからね」と、こちらの無知を知ってか知らずか、自ずと説明してくれる先生。ストリートダンスが生まれ、発展した時代背景や文化を理解しようとせず、イメージだけで「よろしくない」と判断する価値観と、ときに闘うこともあったのだろう。

3年生の女子部長・長野楓^{ながのかほ}さんは、「先生は、たくさんはしゃべらないけれどいつも私たちを見てくれている。ダメなときはダメと指摘して、的確なアドバイスをしてくれます」と話す。マ스ゲームのような画一的な踊りではなく、それぞれの心の抑揚を表現しながらも、一体感のあるダンスを目指している。それが、うちの学校の持ち味なんです、と。

3年生が踊るのは、「大切なのはバスケット」という演目。バスケットのドリブルやパスの動きを取り入れたダンスだ。動きのキレと相まって、皆の表情もくるくると変わる。なんと真剣に、そして楽しそうに踊るのだから。どんな舞踊であれ、人の心をつつダンスに必要なのは、2割の技術と8割の情熱と聞いたことがある。N9SDの仲間が踊るダンスを観ていると自然とリズムに身をまかせたくなる。そして、誰もがたつられて笑顔になる。

張りのある声でなめらかに口上を述べるのは、まちづくり協議会会長の近藤伸久さん。その威厳から、一座では代官など、重鎮役を多く任される。健康劇というだけに、お題となるのは何らかの病気や健康問題。日常生活に役立ち、日頃から簡単に実践できる知

「平成16年から、市民センターを拠点とした地域の健康づくり事業というのが始まりました。ここは最初の年からモデル地区のひとつになっていて、事業の中で健康劇をやっているというところになったんですね。それから年に1回、健康フェスティバルで発表をしています」



ご一行が、待っていた。ではなく、一座が、待っていた。八幡東区の枝光北市民センターにうち揃うは先の副将軍、ではなく、まちづくり協議会のメンバーを中心とした枝北健康劇団、通称「枝北一座」の面々。

健康！
枝北健康劇団「枝北一座」(八幡東区)
演じて、笑って、みんな元気。



メンバーは地域在住の18名で、最年長は79歳。水戸黄門バージョンの時代劇は、枝北健康フェスティバル(昨年は6月開催)屈指の人気演目。「台詞も動きも、一所懸命やりながら全員で探っていく。皆が気持ちよく参加してくれるから続いているんです」と鮎川初美さん。(p.21 写真右)。

識を、芝居を通して伝える。

「認知症だ、高血圧だ、肥満だ……メタボリックシンドローム、なんて言葉を覚えたのも劇の中でですね。ウォーキングをする場面が出てきたり、健康体操を教えたり。AED？もちろん、使いました」（近藤さん）

時代劇にAED！もともとは、大分県のある町で行われていた地域の健康劇を、市民センターの代表が視察したことがきっかけ。各地域が実践していく中、枝光北市民センターの作劇のバラエティと表現力の豊かさが、徐々に評判を呼んだ。作、演出を手がけるのは、協議会事務局長の鮎川初美さん。当初は保健師によって行われていたシナリオ執筆を引き継ぎ、現在のかたちに発展させてきた、座付き作家兼演出家だ。

「作家って、ただの主婦よ！経験もお手本も何もない。テーマを決めたら、資料を探りながら書く。健康というところはきちんとお伝えしないといけないから。でも、笑いもないとやっぱり面白くない。役者も私が決めます。嫌も何もない。私がいいなと思ってこの人はこの役って書いたら、出てもらう」

その辣腕、拝見せねばなるまい。ということで、普段の練習を再現していただくことに。今日の劇のあらすじは〈暴饮暴食で身体を壊し、1年前に心筋梗塞で倒れた代官を、通りかかった黄門様ご一行が見舞う。その道中で、

大家と長屋の人々がひと悶着〉である。

「黄門様！（代官はどうしているかのう）から始めましょう。助さんと格さんは合わせ何か言って。長屋の皆さん、小芝居して！」演出家の号令で、皆が配置につく。通常の



舞台にはもちろん台本があるが、今日は物語の大筋のみで、役者が独自に動いていくという方式。これは、本物の劇団で行われているエチュード（即興劇）そのものではないか。「皆、一直線に並ばない！」



俳句！

檸檬句会（八幡西区）

今宵、十七文字で
会いましょう。



もも子さんの父は詩を愛した。その父が詩作の傍ら生業としたのが古書店。家業を継ぎ今は名前を変えて営業している。「古本や檸檬 dépôt」（八幡西区藤田2-4-5・☎093-631-1124・10:00～21:00・火休）
http://book.geocities.jp/bouquinerie_lemont/

「こっち（客席）をちゃんと見て！」

容赦なく声を飛ばす鮎川さん。怒ると灰皿を投げるといふ、あの著名演出家も顔負けの巨匠ぶりである。役者も、果敢に応える。

「この年だと、台詞を覚えるのが苦痛」「忘れるというか、覚える気がないね」と

口々に言う団員からは、「代官はええ人じややや、あつかましいけれども」など、本音入り交じり（？）のアドリブが快調に飛び出す。同じ地域の、というアドバンテージは、やはり大きいのだろう。団員たちは、日頃から地域のさまざまな活動に携わっている。昨年4月に同センターに赴任し「有無を言わさず加入させられた」館長・林崎康子さん（当

たり役は「悪代官の悪妻」も、「古くからの住宅街で、住民の方々の連携がある。だからスムーズなんだと思います」と言う。頭角を現した団員の面々は、市内の劇団とともに本格的な舞台に挑戦するなど、活躍の道を開いている。新たな楽しみに開眼した人々の表情は、突き抜けていて清々しい。

「大家さん、今日は何の用事で？」
「決まってるだろう、家賃を払いに……」
「大家が払いに来てどうするの！」
「あ、そうか。じゃ、取り立てに」

阿々大笑。「むしろ失敗したほうが客は喜ぶんだから」と一同。恐れ入ったりの舞台度胸。これこそが、健康の秘訣に違いない。

木がらしの路地に灯るは檸檬色。

住宅街に秘密のようにある8坪ほどの古書店で、毎月第2土曜日の夜に句会が催されている。主宰は、家族で店を営む村田もも子さんだ。以前東京に暮らしていたもも子さんは、そこで作家の藤谷治氏主宰の会に参加し、縛りのない自由な句作りに出合った。4年前、郷里に戻ってしばらくしてから始めた檸檬句会も、そのかたちを踏襲している。先生は招かずに毎回4句ずつ持ち寄り、句評し合う。席題や縛りに徐々に挑戦し、昨年は、地元、皿倉山に夜桜吟行にも出かけた。

2年前、倉庫だった今の場所を夫の賢介さんと共に改装し『古本や檸檬 dépôt』を開いた。そこに句会用のスペースを作ったことで、さらに通りがかりの仲間も増えた。

「仲間は今11人ほど。入れ替わり参加します。4人集まれば開くと決めています」

この日参加していた永野さんは、スマートフォンで日常の風景を撮影していたら、あるとき言葉がふと浮かび、句を作り始めたという。朋子さんは作家の川上弘美さんの作る句が好き。20代の林田さんは、歳時記を読んでからあらためて日本語の美しさに魅了され、ここに辿り着いた。

十七文字ことばに浸る冬の宵。
なお、ふらりと当日参加も歓迎とのこと。

「神社にお参りに行って手を合わせていたら、背後からハワイアンミュージックが聞こえてきてね……」。そんな噂を耳にして、小倉南区を訪ねてみると、たしかに、境内の賽銭箱の背後に人の気配。振り向けばそこは地区の公民館だ。カーテンの隙間に、真っ赤な花のレイをかけたムーム姿の女性たちの笑顔が見えた。

教室名は『カズコライカノホナタハラ』。田原和子先生がハワイアンダンス教室を開いてから、今年で18年が経った。門司区を拠点に、ここ小倉南区にある若宮神社でも週に2度、指導している。教室には、50〜80代、11名の生徒さんが所属しており、ほとんどの方が50歳を過ぎてフラガールデビューした。今までの最高齢は92歳。すでに15年通っているベテランさんもある。教室の合い言葉は「家のこと、今晚のおかずの心配を忘れて、ハワイに浸って踊りましょう」。

門司のイベント出演を明日に控えたこの日は、本番用の衣装を着けて踊る。演目は2曲で、ハワイのトラディショナルソング『プアリレフア』と、もう一曲は『瀬戸の花嫁』。瀬戸は日暮れて嫁にいく、懐かしいあのメロディが流れ始めた。

父さんと母さんを大事にしてね、と歌われる中、皆さんが優しく両腕を胸の前で交差さ

せる。それは「アロハ」＝「愛している、わたしの愛しいもの」という意味。ハワイアンダンスは、手話のような手の動きが特徴的で、歌詞と振りがシンクロする。それを知ると、踊るの見えるのもより楽しくなる。だから日本の歌謡曲で踊る機会が多いと田原先生は言う。自ら振り付けをした加山雄三の『君とい

つまでも』も、十八番のひとつだ。「はい！ じょうずっ！」。曲が終わると、先生が大きな声で賞賛、自然と拍手が起る。褒め上手、褒められ上手の笑顔の仲間、招かれたら積極的の踊りに出かける。ときには高齢者施設の慰問をお願いされることも。さきほど「フラはリハビリですから」と笑っていたが、とんでもない。真冬に腕と肩を出し、素足で踊って人々を元気づける。そのバイタリテイに感服。こちとら、こっそり貼ってきた背中のカイロが恥ずかしい。

1年に1度、マイクロボスをチャーターして、歓送迎会を兼ねた温泉旅行に出かける。カラオケに行つて、習った曲を踊りまくることもある。田原先生は最近、そんな仲間と久しぶりにハワイを訪れたいと考えている。本場のハワイアンダンスをみんなに見せてあげたい。話す先生の手首に光るブレスレットには、「kūiipo」とハワイ語が刻まれていた。「私の大切なひと」。ハワイでは喜びも哀しみも分かち合い、同じ舞台に立つ仲間のことを、大切な家族にたとえてフラシスターズと呼ぶ。

フラシスターズは 永遠に。

ハワイアンダンス！
カズコライカノホナタハラ
若宮教室（小倉南区）



手のひらを上に向け、5本の指先の腹を中心に寄せるポーズは「プア」＝花を意味する。「みなさん、笑顔が一番よ」。田原先生（前列右から2人目）の高く澄んだ声が境内に響く。



そろばん！
北九州市立高等学校珠算部（戸畑区）

つながる
珠のよう

左ページ・左から、1年生の吉岡美来さん（得意は掛け算）、奥日菜子さん（応用計算）、田淵愛梨沙さん（読上暗算）、2年生の池之上佳穂子さん（見取算）、香月裕汰君（割り算）、中村教諭。個人、団体の全国制覇に向け、まずは九州王者を目指す。男子部員の獲得も。

最近の子どもたちは、静かである。じっとして黙っていて、指先だけがせわしなく動いている。メールにLINEにツイッターにゲーム。いつも誰かとつながりたがっているのに、案外、孤立している。まあ、大人も、子どものことばかりは言えないのだけれど。

その点、この放課後の教室を満ちた静寂は、ひと味違っている。北九州市立高等学校のとある部室には、2年生2人に1年生が3人。手元に目を落とし、熱心に指先を動かすが、その視線の先にあるのはスマホでもパソコンでもなく、そろばんだ。彼らは珠算部員。全国高等学校珠算・電卓競技大会に過去47回出場し、準優勝に輝くこと2回。過去5年間で全九州大会優勝4度達成という栄誉ある伝統を背負い、受け継ぐ生徒たちなのである。

「用意、始め！」の合図で、黙々と珠を弾き、答えを記入していく。パチパチパチ、と音を立てて弾く子、撫でるようなタッチの子、顔の伏せ方、姿勢など、個性豊かな彼らは、幼少の頃から珠算塾に通って鍛えた有段者。張りつめた空気に身を置く様子は、寡黙なアスリートのようだ。放課後の校舎に響く吹奏楽部のロングトーンの音量も、耳に入っているのかもしれないのか、気に留める様子はない。

「暗算でなければ、たぶん弾きながら会話もできると思いますよ。珠算には確かにスポーツの要素があると思いますね。伸びるの

は、とにかく練習量が多い子。向き不向きは単純に、練習が好きか嫌いかだと思います」と言うのは、顧問の中村彰秀教諭。もとは商業高校であった同校だが、現在、珠算は必修でなく、経験者も少ない。携帯にまで計算機が付く現在、アナログ派はごくごく少数である。が、それだけに彼らのストイックさは

珠算を通じてできた、県外の友人も多い。

「ひとりでは苦しい練習を、皆で乗り越える。全国大会の結果発表のときには、抱き合っ

て涙を流したりもするんですよ」と中村教諭。自身も、競技者出身だ。



まぶしい。デコそろばんとかあったりして、などと愚かな想像をしていたわが身を恥じる。

一見、個人競技のような珠算も、実はチームワークを要するという。「大会とかで、一緒に練習しよるメンバーが傍におると心強い」と、黒一点の2年生主将・香月裕汰君。合宿や交流試合へたびたび出かける彼らには、

30歳で転職しました。いろんな人に出会わせてもらって、そろばんには感謝しています」

愛するものに真剣に打ち込む喜びを携え、彼らはどんな大人になっていくのだろう。練習は続く。次は、読み上げ算。「願ひましては」の声で、ぴっと緊張が走る。仲良く並んだ珠のような彼らが、光を放つ瞬間だ。

TETSUNABE. 鉄

鉄 な べ

自宅でも
堪能したくなる
鉄なべ餃子。



【M】鉄なべ餃子30個セット 1,800円 【S】鉄なべ餃子20個セット 1,200円

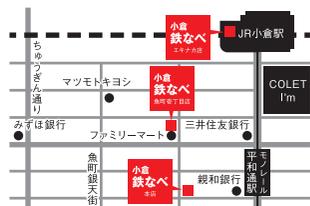
営業時間
11時～24時

※鉄なべ餃子は、お買い求めいただいた当日のうちにお召し上がりください。 ※前もってご注文いただけますと、お待たせせずにご用意することが可能です。
※ご注文いただきました店舗にてお引き渡しとなりますので、くれぐれもお間違えないようにお気を付けください。

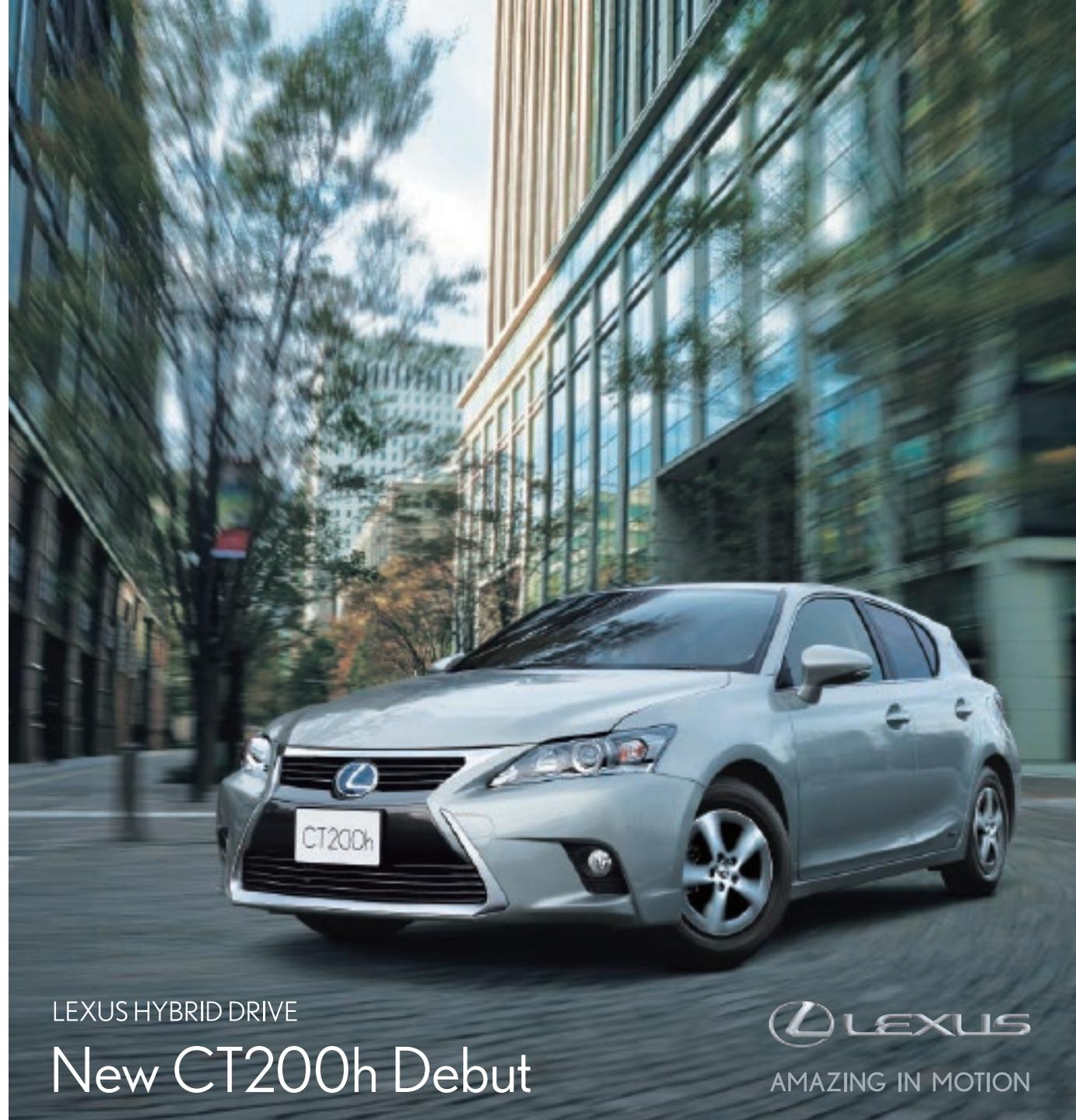
《20名様対応の個室）掘り炬燵席有ります
小倉 鉄なべ 本店
093-513-8033
北九州市小倉北区魚町2-6-15
平和会館ビル1F

《シーンに合わせて使える）くつろぎの3フロア111席
小倉 鉄なべ 魚町壹丁目店
093-513-8100
北九州市小倉北区魚町1-4-13
鉄なべビル

《掘り炬燵席、40名まで対応できます）圧巻の160名収容
小倉 鉄なべ エキナカ店
093-511-8031
北九州市小倉北区浅野1-1-1
小倉駅新幹線改札口正面
ひまわりプラザ2F



詳しい情報は公式ホームページへ ▶ tetsunabe-g.com



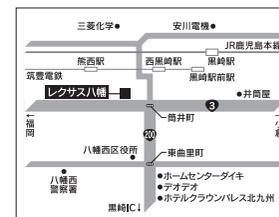
LEXUS HYBRID DRIVE
New CT200h Debut

LEXUS
AMAZING IN MOTION

Photo:CT200h ポテイカラーはプラチナムシルバーメタリック(1J4)



レクサス小倉
〒803-0812
北九州市小倉北区室町1丁目2番1号
TEL 093-591-3300
FAX 093-591-3530
営業時間 10:00～19:00(定休日 月曜日)



レクサス八幡
〒806-0031
北九州市八幡西区熊西1丁目2-12
TEL 093-644-2209
FAX 093-644-2280
営業時間 10:00～19:00(定休日 月曜日)
月曜日が祝日の場合、翌火曜日を休業

最新“人工知能補聴器”



- ◆ 試聴・貸出し・体験の
できる店
- ◆ 充実のアフターケアで
購入後も安心!

認定補聴器技能者が、
あなたの補聴器を合わせます。

無料体験実施中!

補聴器のプロ 小倉補聴器

黒崎店 TEL093-622-5888 小倉店 TEL093-592-6700
北九州市八幡西区岡田町2-20(黒崎びびんホール前) 北九州市小倉北区大門2丁目1-20

門司中央法律事務所 支部

TEL.093-372-7167 〒800-0039 北九州市門司区中町2番1号フレスタ門司3階(門司駅ビル)
【予約受付時間】月～金/9:00～18:00 FAX.093-372-7168

交通事故に遭われてお困りの方、事故後の後遺症について不安のある方は

0120-03-5245

女性弁護士も在籍しております。お気軽にご相談ください。 山口県弁護士会所属
弁護士法人ピース 代表弁護士 田川 章 次

交通事故 債務整理 遺産分割・相続 初回相談料無料(30分)
※受任する場合は費用がかかります。※上記以外の事件もお受けいたします。※不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

下関中央法律事務所 TEL.083-232-7167

〒751-0823 下関市貴船町3丁目1番1号下関中央ビル2階
【予約受付時間】月～金/9:00～17:30 FAX.083-235-0162



源泉かけ流し

天然温泉100%かけ流しの湯が自慢。
玖珠の畔で静かなひとときを――

身体を癒やすひとときを。 **北九州より送迎!!**

湯治パック
●2泊で6食、4泊で13食付
●1人からOK!! ●毎月実施
送迎場所 / (北九州方面) 小倉駅・下曾根駅・戸畑駅・黒崎井筒屋前 他

大分県くす温泉 旅館 豊後乃里

大分県玖珠郡玖珠町中山田210号線沿い TEL.0973-72-6258

北九州営業所 TEL.093-511-5425



CREDIT CARD × MILEAGE

STARFLYER CARD

デザインで選ぶステイタス。



年会費 永年無料*

マイレージ機能付クレジットカード

※VISAカードの年会費は初年度無料、2年目以降は条件を満たせば無料となります。

詳しくは
www.starflyer.jp
マイページ機能などWEBが使いやすくなりました



英彦山神宮

各種祈願承ります

福岡県田川郡添田町英彦山1番地
電話 0947-85-0001
<http://hikosanjingu.or.jp>

オール電化をセットでご購入の方へ朗報です!! オール電化のチャンスです!!

フルオート
エコキュート **最新型**

(例)ダイキン・三菱
SRT-HP37W8
(5メーカーから対応できます。)

IHクッキング
ヒーター

日立
HT-F60S
223,650円(税込)

給湯用
リモコン
台所・浴室

三菱 RMC-8SE 31,500円(税込)

標準取付工事費用 149,000円(税込)

エコキュートの最新型を

フルオート **370L**

先着
50名様

取り付け工事込みで[セット購入の方限定]
498,000円(税込)でご提供します!

エコキュートのメーカー(一部上場)に
変えるセット

先着
30名様

478,000円もあります。

●割引はメーカー希望小売価格より

リフォームもお任せ下さい!

九州電気設備工事株式会社

お問合せ、質問などお気軽にお電話下さい!
0120-03-1456

〒807-0071 北九州市八幡西区上の原2丁目2-54
見積無料!カタログを持ってお問い合わせ致します

FAX: 093-613-2354 九州電気設備工事株式会社

九州電力株式会社様より

6年連続の感謝状授与!

グルメ・カフェ・手作り雑貨・アンティーク
インテリア・グリーンショップなどの
全国有名店・人気ショップが集結!
特別ステージでは人気アーティストも出演!
かつてない規模で小倉のまちがにぎわいます。

2014 10:00-17:00

3/29 土 30 日 入場無料

会場 **北九州市小倉都心部**

紫江's 前市ドウォーク・勝山橋・リバーウォーク北九州前 紫川沿い
井筒屋クロスロード・北九州市庁舎紫川周辺・勝山公園大芝生広場

紫川がどっとこむ

紫川
「紫川で、会いましょう。」
KOKURA RIVER TOWN PROJECT

グルメ・雑貨 など
約300店舗が大集合!
西日本最大級マーケット

「紫川で、会いましょう。」
KOKURA RIVER TOWN PROJECT

学ぶ楽しさを深め
文化のかかるまちにします

「雲のうえ」編集委員会
つるやももこ

発行
北九州市にぎわいづくり懇話会
803-8501
北九州市小倉北区城内1番1号
093-582-2105
(北九州市産業経済局
にぎわい推進課)

制作統括・印刷
株式会社ゼンリンプリンテックス

協力
株式会社スターフライヤー
北九州市のみなさま

※イベントでは環境に配慮した
LED照明を一部使用して
おります。

主催「紫川で、会いましょう。」実行委員会

■イベントに関するお問い合わせ「紫川で、会いましょう。」実行委員会(北九州まちづくり応援団内) TEL093-541-0191

■構成団体 紫川マイタウンの会、井筒屋・リバーウォーク北九州、ホテルクラウンパレス小倉、小倉中央商業連合会、西日本工業大学、北九州商工会議所、北九州まちづくり応援団、北九州市



*アンケート

『雲のうえ』20号をお読みいただきありがとうございました。ご感想、今後取り上げてほしいテーマなどのご要望を、綴り込みはがきでお寄せください。抽選で17名の方に以下のプレゼントをお贈りいたします。2014年8月31日消印有効。当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。*応募はおひとりさま1号につき1通に限らせていただきます。複数応募は無効となりますのでご注意ください。

A: 北九州一東京羽田間ペア往復航空券目録
(株式会社スターフライヤー) ⇒ 1名様

B: STARFLYER 1/150 モデルプレーン
(株式会社スターフライヤー) ⇒ 2名様

C: ホテルペア宿泊券(北九州八幡ロイヤルホテル・ステーションホテル小倉・千草ホテル・ホテルクラウンパレス北九州・ホテルクラウンパレス小倉・門司港ホテル・リーガロイヤルホテル小倉) ⇒ 各1名様
*ご希望のホテル名をお書きください。

D: ペアフリーパス券
(株式会社スペースワールド) ⇒ 2名様

E: 北九州市ふるさとかるた
(北九州市にぎわいづくり懇話会) ⇒ 5名様

○20号特別プレゼント

足立山妙見宮(小倉北区妙見町17-2)からのご好意で、編集委員・牧野伊三夫さんがデザインした絵馬の引き換え券を先着50名様にプレゼントします。引き換え券を社務所(9:00~16:00)にお持ちいただければ絵馬をプレゼントします。ご希望の方は、アンケートはがきのご希望プレゼント欄に「絵馬」と書いてご応募ください。
*引き換え期間(2014年4月1日~5月31日)



北九州市民憲章

緑を豊かに
清潔で美しいまちにします

きまりを守り
安全なまちにします

人を大切に
ふれあいの輪をひろげます

元気で働き
明るい家庭をつくります

学ぶ楽しさを深め
文化のかかるまちにします

「雲のうえ」編集委員会
つるやももこ

発行
北九州市にぎわいづくり懇話会
803-8501
北九州市小倉北区城内1番1号
093-582-2105
(北九州市産業経済局
にぎわい推進課)

制作統括・印刷
株式会社ゼンリンプリンテックス

協力
株式会社スターフライヤー
北九州市のみなさま

©北九州市 2014 本誌記事・写真・イラストレーションの無断転載を禁じます。

青雲/白雲

*19号特集「とどけ、歌」を読んで、日本にはまだ知られていない歌がたくさんあると感じました。
(沖繩県那覇市・31歳男性)

*毎号楽しみにしています。この間デコチャリ少年を見かけました。主人と「オオ!」と歓声をあげました。主人「天津」というラーメン屋さんにも行き、笑顔が素敵なお主人のラーメンにもいろんな発見ができるようになり、街の風景を楽しめるようになりました。
(小倉南区・30歳女性)

*以前、他雑誌で紹介されていたのを拝読してから読んでみたいと思っていました。福岡空港で見つけたときは嬉しくて声が出てしまいました。薄い冊子からは想像もできなかったほど濃い内容が詰まっています。スタッフの方の情熱が伝わってきます。文章や内容はもちろんですが、掲載されている写真が好きです。北九州市がもっと好きになりました。(神奈川県相模原市・26歳)

*初めて読みました。半年前より黄金町の市民センターのコーラスクラ

ブに入り歌っています。北九州市には42年も住んでいるのに「北九州市歌」を初めて歌いました。なんと元気の出る歌でしょか。そんな中、北九州市の歌の多さにびっくりしました。続けて愛読したいと思いましたが、(小倉南区・60歳女性)

*1号の角打ち特集は今も重宝していますし、ラーメン、方言、文化財とよく見つけてくるものと感心しています。今回の歌情報も、こんなにたくさんの方が活動しているなんてびっくり。今年初めてソレイユまで第九を聴きに行こうと思っています。
(門司区・70歳女性)

*赤坂小梅と小倉節の記事を興味深く読ませていただきました。生まれが川崎だったとは!地元九州のために大きな働きをされた方だったんですね。(八幡西区・70歳男性)

*「雲のうえ」を読むようになってから地元が輝いて見え、北九州市を自慢したくなります。こんな気持ちにさせていただきとても感謝しています。(神奈川県川崎市・35歳女性)

*伝統料理や新しい料理を紹介してほしい。(福岡県田舎町・56歳女性)

*小倉高校の応援歌の記事を読み、

おたよりをお待ちしております。綴り込みはがきをご利用ください。掲載させていただいた方には、小さな記念品を差し上げます。

今どきこんなに硬派な応援団があることに驚き、熱いものを感じました。
(福岡市・24歳女性)

*19号を開いたとたん、懐かしい顔を見つめました。小学5年生の時担任だった天川悦子先生です。昔と変わらず、歌で頑張っている様子、とても嬉しくなります。
(埼玉県寄居町・60歳女性)

*図書館など公共の場に置いてほしいです。(小倉北区・29歳男性)

*フェリーの中で見つけ、神戸から門司港までの船旅中に読みました。合唱団がたくさんあることを知り、歌い難いと思ってはいいと思いました。
(兵庫県神戸市・45歳男性)

*スターフライヤーに乗るときは欠かせないアイテムです。北九州で生まれ育ち、現在、関東に住む私のふるさととの自慢でもあります。今まで手にした号はすべてとってあります。北九州市の海山川の特集をしてください。(千葉県船橋市・37歳女性)

「雲のうえ」歌 19



*バックナンバー
「雲のうえ」13
特集 夜のまち。
「雲のうえ」14
特集 電車に乗って。
「雲のうえ」18
特集 北九州市未登録文化財

してお送りください。
◎送料切手代(封筒その他の必要経費分含む) 1~2冊/300円分、3~4冊/400円分、5~6冊/500円分
◎送料は1名様1号あたり1冊とさせていただきます。予定数に達した場合は終了させていただきます。市のHPで在庫状況を確認のうえ、お申し込みください。
☎802-0002 北九州市小倉北区京町一丁目6-1
☎093-383-6061
一丁目の元「雲のうえ」送付係

次号予告 海を渡ってきた北九州人。

最新の発行情報は、北九州市にぎわいづくり懇話会ウェブサイト (<http://lets-city.jp/>) でお知らせしていきます。



北九州市税制課からのお知らせ
「ふるさと北九州市応援寄附金」の寄附者(1万円以上)には、本誌の最新号から2号分をお届けしています。

レッツシティ/北九州 <http://www.lets-city.jp/>



北九州芸術劇場

KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

ticket club card

メンバー募集

良い舞台を見終えた時の
感動と胸のドキドキ感を
ずっと忘れたくないアナタへ。

会費：500円、入会金なし

有効期限＝入会日から2年間。入会日から2年後の同月末日まで。
入会方法＝[窓口]北九州芸術劇場プレイガイド(10:00～19:00)
小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州5F
[電話]093-562-8435(10:00～18:00)

特典1：電話・インターネットによるチケットの先行予約

*先行販売枚数には限りがあります。(劇場指定主催公演のみ対象)
*先行販売での座席位置は、すべて良いお席とは限りませんので予めご了承ください。

特典2：ポイント積立による割引サービス

*チケット購入金額の5%相当のポイントがつきます。(劇場指定主催公演のみ対象/1公演につき4枚迄)
*積立ポイントは100ポイント単位(1ポイント1円)で次回購入より利用可能です。

特典3：年間ラインナップのご案内

*公演スケジュールやチケット前売情報などを掲載した情報誌Qを年4回お届けします。

特典4：協賛店での割引サービス

*リバーウォーク北九州デコシティ内を中心とした
協賛店でのお得なサービスがあります。

北九州芸術劇場
公式ツイッター
<http://twitter.com/kicpac>

公演情報や参加者募集情報ほか、
日々さまざまな
劇場の情報を発信中。

北九州芸術劇場
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

●お問い合わせは

チケットクラブ TEL.093-562-8435 (10:00～18:00)

詳しくは 北九州芸術劇場 チケットクラブ

